

平成30年 立入が丘小学校「浮気・住吉神社（火まつり）」調査隊
平成30年6月13日（水）

住吉神社コーナー

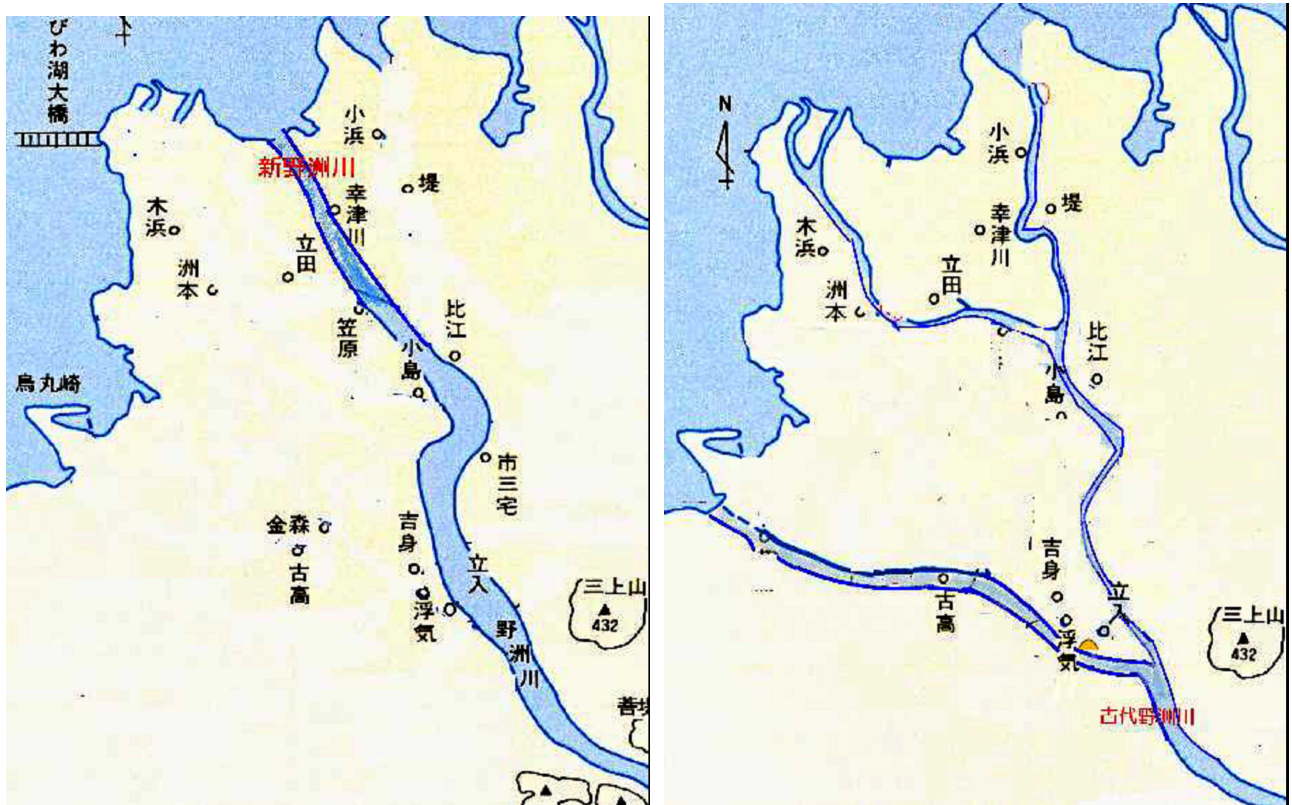
①いつ住吉神社ができたのですか

住吉神社を作ったのは西暦739年ころ（今からおよそ1279年前）

②住吉神社はどのようなきっかけでできたのですか

ここは住吉神社です。住吉と名がつくのはどんな神様がお祭りしているか。それを探りましょう。住吉神社というのは航海の神様で舟が行き来するときの安全を守る神様です。でも、この浮気には舟が行き来することはありません。なぜ、浮気に安全を守る神社が必要だったか。そのことが分かるために昔の地図を見て考えましょう。

今の野洲川は立入町のすぐ近くを流れています。



神社ができた頃の野洲川はどうか？

神社ができた頃の野洲川は浮気内（南側）を流っていました。そこから琵琶湖に通じていたあったサンヤレ山の麓を通り勝部・金森・下物(おろしも)へと流れ、琵琶湖に注いでいました。琵琶湖から木の舟が来たりして行き来していたそうです。そして、浮気に港があったので「舟の安全」を願って浮気に住吉神社を建てたということです。

③柱だけの建物は何ですか。

拝殿といって本殿の神様に向かって拝むところです。普段は鈴のところまで行って拝んでいますが儀式によってや雨などの悪天候の際は拝殿を使います。

④鈴はなぜ鳴らすのですか。

鈴を鳴らして拝みますが、神様に来たことを知らせる合図です。

(正式には神様に発動を願うことや鈴によって清める意味があります)

神様に向かって手を叩きますがこれもよく似て願いを叶えてもらうために神様を呼ぶ合図です。

⑤鳥居はなぜあるのか

鳥居から前は神様が住む場所。鳥居の外側は人間たちが住む世界です。ですから、鳥居をくぐるときは一礼して入ります。出るときは、神殿に向かって一礼します。



火祭りコーナー

立入が丘小学校3年生「総合的な学習の時間」(立小学区ひみつ調査隊)の質問に対する回答
平成30年6月13日

1. なぜ、ふんどしをして火まつりをしているのですか。

[回答]

○日本の祭りは、おお昔からふんどし姿が正式な服装(正しい服装)と言われていたもので、今でも火祭りにはふんどし姿を引き継いでいます。

○松明の一の火を争っている時に、着物や服であれば動きにくく破れたり火が付いたりするが、ふんどしであれば動きやすいし、火もつきにくい。

皆さんも運動会やサッカーなどの時は、運動のしやすい服装に着替えるのと同じです。

2. 毎年、何人で行われているのですか。

[回答]

今年の1月の火祭りの時は、35人でしました。

知新連中(15歳から34歳) 14人
グループ

神事中(35歳以上) 21人
グループ

3. なぜ、火まつりが行われるのですか。

[回答]

松明は、昔々（約800年前）土御門天皇という人がいて、ある時この人が病気になって困っていました。村の人も土御門天皇がなぜ病気になったのか、みんなで考えていました。

ある時、一人の村人が病気になったのは、近くに大蛇がいるからだと言いました。そして、大蛇を焼き払って退治をしようという事に決まりました。

ある日、大蛇を焼き払ったら、土御門天皇の病気が治りました。

焼き払った大蛇は、頭が浮気に落ちて、胴体が勝部にしっぽ（尾っぽ）が大津の瀬田に落ちたと言われています。

だから、今作っている浮気の松明は、大蛇の頭を形どっています。

その松明を無病息災や家内安全を祈って、夜に燃やす事を今も続けています。

4. 今年で火祭りは何年目ですか。

[回答]

先ほど、土御門天皇の事を説明しました時に800年前と言いました。だから約800年目です。

5. 燃えた木や竹は、その後川に置いて、何分ぐらいつけておくのですか。

[回答]

夜の8時ごろに松明に火が付いて、それから川まで運んで浸けます。

そして、次の日の朝8時から松明の後始末をしますので、12時間ぐらい浸けて置きます。

6. 火まつりは、何月何日にありますか。

[回答]

毎年、1月の第二土曜日に実施します。

今年は、1月の第二土曜日が13日だったので、1月13日に実施しました。

7. なぜ、火事にならないのですか。

[回答]

火事になったら大変な事になるので、毎年、守山市の消防団の人に来ていただいて、いつ火事になっても、すぐに水を掛けて火を消せる状態で待っていただいています。

今年の松明の日は、少し風邪が吹いていて宮さんの森の木に火が付きましたが、消防団の人に水を掛けていただきましたので、すぐに消えました。

8. 雨の日は、どうするのですか。

[回答]

雨の日でも実施します。

もし雨が降れば、松明が雨にぬれて火が付かないと困るので、火を付けるまでは松明にビニールシートをかぶせておき、火が付く前にビニールシートを取りはずします。

9. 木は、どこに生えている木なんですか。

[回答]

松明の木（ハンノキ：落葉樹）は、栗東の金勝の山に生えていて、毎年12月の中旬に先ほど説明しました15歳から34歳の知新連中の人を中心となり、トラックで取りに行きます。

10. 火まつりには、どんな人が参加するのですか。

[回答]

浮気町に住んでいる住吉神社の氏子で、数え歳で15歳から70歳までの男性。

[分かりやすく言うと]

浮気町に住んでいる住吉神社の会員（グループ）で、満13歳の中学1年生から68歳までの男性。